

第 35 回 芝樋ノ爪及び芝 4・5 丁目地区まちづくり協議会 議事要旨

(1) 日時

令和 2 年 2 月 21 日 (金) 午前 10 時 5 分～11 時 25 分

(2) 場所

芝神戸町会会館

(3) 出欠者 (会員数 19 名)

- ・ 会員 : 7 名 + 傍聴 1 名 (欠席者 12 名)
- ・ 事務局 : 川口市 5 名、(株)首都圏総合計画研究所 2 名

(4) 議事次第

- 1) 開会
- 2) 防災マップづくりについて
- 3) その他
- 4) 閉会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 資料 1 : 防災マップベース図
- ・ 資料 2 : まちづくり協議会ニュース 28 号 (台風 19 号特集号)
- ・ 参考資料 : 西地区防災マップ (西地区まちづくり会議)



▲意見交換の様子



▲意見交換の様子

(5) 議事概要 (○：質問・意見、→：回答)

1) 開会

副会長より開会の挨拶。傍聴者として、副会長より芝中田町会防災部の方を紹介。

2) 防災マップづくりについて

事務局より防災マップづくりについて説明。

【防災マップづくりについて意見交換】

- ：西地区防災マップと同様に広域避難場所、一とき避難広場、一次避難場所、病院、AED、公衆電話、電話ボックス、点字ブロックを載せてほしい。また、追加で24時間営業のコンビニ、町会会館、公民館を載せてほしい。一方で、防災倉庫、街角消火器は載せる必要はない。また、まちづくり協議会ニュース28号によると、台風19号における芝樋ノ爪小学校の避難者数は100名と記載されているが、町会調べでは114名である。
- ：まちづくり協議会ニュースに掲載している避難者数は防災課調べのため、集計方法の違いにより町会調べの情報と若干異なっていると思われる。
- ：まちづくり協議会での防災マップ作成の取組みについては、町会防災部に説明し、協議会の活動にもぜひ参加してほしいと勧誘している。防災マップが全戸配布できると防災意識の向上に繋がるので良い。震災と風水害で防災マップを分ける必要はない。また、町会では、高齢者に対して水害時における垂直避難を勧めているので、併せて考えていきたい。
- ：台風19号時は避難所や土嚢の配布場所を聞かれることが多かったため、そのような情報を載せてほしい。防災倉庫には備蓄品があるため載せてほしい。AEDも載せるべきであるが、街角消火器は必要ない。また、芝神戸町会としては今後、町会の各班の連絡網を作成し、各避難所に配置する人数を決めていくことを検討している。
- ：他地区で、防災マップを紙ではなく風呂敷で作成しているところがある。撥水性や防炎性を備えた素材で作られており、災害時に活用できるようになっている。価格は1枚2,000円である。当面は紙での作成を考えていきたいが、その次の段階として、防災マップを多くの人に活用してもらうための工夫について検討していくことも考えられる。
- ：防水性のある風呂敷であればバケツ代わりになり良いアイデアだと思うが、1枚2,000円は高いと感じられる。単価を400～500円程度に抑えられるのであれば良い。震災と風水害は分けなくて良い。防災マップの範囲は、3町会全体を含むものが良い。消火器は、地区内にかなりの数があると思うので、載せても良いのではないか。
- ：川口市ハザードマップによると、震災時と風水害時の避難所は分かれているが、防災課によると「その通りにしなくて良い」とのことだったので、今回はまとめても良いのではないか。垂直避難はマンション等が対象となると考えられるが、マンションの場合は、居住者以外は入れないこともあるため検討が必要である。
- ：川口市ハザードマップによると、当地区の想定浸水深は0.4m～3.0mなので、垂直避難として家の2階に上がるのが最も良いのではないかと考えている。一番危険な時間帯に、避難してしまうなど危険行動を起こしてほしくない。
- ：川口駅前などでは、水害時に垂直避難ができるよう、市とマンションで協定を締結しているが、現時点では数えるほどしかない。町会とマンションで協定を結ぶことも考えられる。
- ：ハザードマップを見る限りでは、垂直避難については、家の2階に避難することで十分ではないかと考えている。防災マップでは、逃げられる場所を伝えることが第一だと考えている。

- ：町会の役員は高齢の方も多いので、住民には、自主避難が基本であることを伝えたい。
- ：芝樋ノ爪町会では、一とき避難広場から広域避難場所へ避難する訓練などを普段から行ってきた。地図の裏側に最寄りの避難所や避難広場などをメモとして書き込めるスペースがあると良い。
- ：台風なら事前に想定できるが、震災だと準備ができない。せめて防災マップにて最低限でも避難できる場所がどこか伝えられると良い。
- ：今年の10月に町会で防災訓練を実施する予定であるが、図上訓練を行うことを検討しているので、そういったことにも活用できると良い。
- ：西地区防災マップは作成して以降、災害時に実際に役に立っていたのか。
- ：防災課から防災マップの参考資料として提供して頂いたもので、どのように機能しているかまでは確認していない。
- ：防災マップを作成しただけで活用されないと意味がない。それなりに機能するものを作成したい。今回の意見交換の主旨は、一次避難場所をどこに配置するかを議論するということか。
- ：一次避難場所は市の計画に基づいて既に定められている。今回は、防災マップに何を掲載するかを議論していただきたい。AEDや街角消火器など、掲載する情報によっては市で全て把握し切れていないものもあるため、そういったものを掲載する場合は、町会にご協力頂くことになる。
- ：ある程度市で把握している情報は掲載してほしい。
- ：防災マップの区域を3町会よりも広げるとは考えられるか。
- ：3町会よりも外側の情報を収集できないことと、あまり範囲を広げると見にくくなってしまう。できるだけたくさんの情報を載せた方が良いか、それとも載せる情報は絞ってシンプルにするのが良いかも議論していただきたい。
- ：西地区防災マップは情報量が多く見づらいつと感じる。できるだけシンプルにした方が良い。
- ：避難する身になって考えると、どこに避難すれば良いかが伝えられると良い。車で避難することも考えられるので、民間の駐車場などを載せるのはどうか。
- ：民間の駐車場を勝手に載せることは難しいのではないかと。公共の駐車場も限りがある。
- ：震災と風水害は分けても良いのではないかと。
- ：震災と風水害をまとめたたたき台を事務局に作成していただき、次回の協議会で検討するのが良いのではないかと。
- ：一とき避難広場と一次避難場所は紛らわしいので、表現は一括りにしてしまっても良いのではないかと。
- ：逃げる場所を伝えることが一番重要であると思うので、全て記載したうえで、自己責任で避難する旨を記載してほしい。
- ：避難所はどこでも良いということに記載してほしい。
- ：西地区防災マップは見づらいつと感じる。公衆電話やコンビニエンスストアは載せなくても良いのではないかと。
- ：避難中に活用できるように、目印となる場所や病院を載せてほしい。
- ：AEDも事務局がわかる範囲で掲載してほしい。
- ：町会会館を掲載してほしい。町会会館を知らない人もいるので、周知が必要である。
- ：東日本大震災を踏まえると、携帯電話が繋がらなくなることも想定されるため、公衆電話はあった方が良いのではないかと。
- ：防災マップを通して、命を守る行動を取ってもらうことが第一義であると考えている。あまり情報を入れてしまうと大事な情報が見えなくなってしまうので、まずは事務局に必要な最低限の情報を入れたたたき台を作成していただくのが良いのではないかと。

- ：避難の推奨経路を入れるのはどうか。
- ：それについては町会で個別に検討する必要があるのではないか。
- ：災害時は想定外のことも起きるので、絶対に安全だと推奨できる避難経路はない。むしろ、ご自身で防災マップを活用して、災害時の避難手段を考えていただくことが大切だと思う。また、そのような内容を基本的な考え方として防災マップに記載できると良いのではないか。

◎防災マップの作成については以下のとおりとする。

- ・事務局でたたき台を作成し、次回協議会にて検討する。
- ・防災マップはまちづくり協議会ニュースを通じてまちづくり協議会の区域に全戸配布する。区域外には、各町会が配布する。

3) その他

【芝銀座通りにおける浸水対策について意見交換】

- ：主要生活道路の拡幅整備が終わってこそその防災だと考えている。主要生活道路7号と芝銀座通りの交差点付近はいつ整備されるのか。
- ：来年度の工事を予定している。
- ：道路工事に併せて側溝が整備されれば芝銀座通りの水はけの悪さは解消されるのか。
- ：道路に勾配があるため、側溝が整備されても水の流れは根本的には変わらない。
- ：まちづくり協議会に参加した当初から水はけの問題を解消してほしいと伝えている。ポンプを導入していただいたが、台風19号時にはごみ詰まりにより動かなかった。今後は点検をしっかりとっていただきたい。芝銀座通りの側溝も小さいため大きいものに整備してほしい。先日、秩父の商店街に行ってきたが、舗装を石畳にするなど工夫が見られた。芝銀座通りも見目がきれいになれば、商店街に新しい人が入ってくることも期待できる。
- ：側溝は一定の区間で繋げて整備する必要があるため、残っている用地の買収が完了しないと整備できない。道路拡幅の目的は水はけの悪さの解消のためだけでなく、密集市街地の改善が第一であることにご理解いただきたい。
- ：ポンプの点検状況など、市の方で正確な情報を次回協議会に用意していただきたい。

4) 閉会

以上